

NEWS

年頭所感(本格始動の年)

昨年は、衆議院選挙の圧勝により政権交代を成し遂げました。しかし、現状に浮かれているわけにはまいりません。

今、日本は少子化と高齢化が同時進行し、国家の活力が失われかねない状況にあります。また他方で国の長期債務がGDPの1.8倍にも上らんとしています。

このような状況に陥ったのは、50年以上の長きに渡り政権交代が行われなかったことに大きな原因があります。政官業の癒着が進行する中で、既得権益を維持しようとする政治が続き、時代にそぐわない硬直化した予算配分が続けられてきたのです。私達はこの状況を打破するために政権交代をめざし、国民もまた、私達に期待したからこそ政権交代が実現したのでした。新年に当たり、私達の目的は政権交代自体にあるのではなく、「為政者として真の「国民のための政治」を実現させる」ことにこそあるということ、改めて肝に銘じる必要があると感じています。

変革を成し遂げるに当たり、昨年は9月中下旬の政権交代直後から、前政権が作成した平成21年度補正予算の見直し、本年度税制改正要望、本年度予算概算要求及び予算の決定に向けた官邸、財務省、党との折衝と非常にタイトなスケジュールを余儀なくされました。まさに綱渡りで「こなしてきた」感があります。

それでも、私が副大臣を務める国土交通省では政権発足当初から政治主導を念頭に、政務三役による政策決定を徹底し、前政権が策定した補正予算の見直しでは所管する2兆3,321億円の予算うち、9170億円、全体の39.3%まで切り込みました。実に全体の約4割を削減したのです。

また、本年度予算概算要求では全ての事業について聖域なく見直しを行い、平成21年度当初予算と比べて、公共事業費を8000億円超、約15%大幅に減額する概算要求を決定しました。政治主導により既得権益を打破し、まさに「コンクリートから人へ」の政治を実行しました。

とは言え変革は始まったばかりであり、まだまだ十分ではありません。長期政権の下、あらゆる制度が至る所で制度疲労を来しており、変えなければならないことがあまりにも多いのです。それに比べ、絶対的に時間が足りないというのが政権交代以来、職務を執り行ってきた実感です。いきおい不本意ながら前政権までの制度・枠組みの中での政策を、甘んじて遂行せざるを得なかった点が多々あったことも事実です。これは前政権が作った政策・予算を引き継ぐ以上、政権交代の初年度に必ず伴うものです。新たな成長戦略、金融政策と日銀のあり方、ムダの多い独立行政法人や公益法人の改革などは残された大きな課題です。また、予算、税制のみならず政策の内容にまで干渉してくる財務省をとりまく予算決定のあり方は、今後の政策決定のあり方として政権運営上の最大の課題かもしれません。

本年は、夏に参議院選挙を控えています。残された課題に腰を据えて対処するためにも過半数を獲得し、安定した政権運営を行うことができる体制を築くことも非常に重要となります。その上で、いよいよ前政権の呪縛を離れ、民主党の目指す真に「国民のための政治」を実現する年としなければなりません。(了)



まぶち会のご案内

私は「渴すれど盗泉の水を飲まず」の言葉のもと、利権ではなく信念に基づいた政治を行うため、一円たりとも企業献金を受けず、政治資金パーティーも行っておりません。私の政治活動は「まぶち会」に入会してくださった方々からの年間寄付金(個人献金)によって支えられています。

主旨にご賛同頂ける方は、お気軽に下記までご連絡ください。

まぶちすみお後援会事務所
0742 (40) 5531

1月9日(土)第113回 シビックミーティング

日時・1月9日(土)午後3時00分～4時15分
 場所・奈良商工会議所5階大会議室
 ・近鉄奈良駅から県庁に向かって徒歩1分
 ・登大路左側のビル
 ・奈良市登大路町36-2
 ・TEL 0742-26-6222



テーマ・「初めての通常国会」

鳩山内閣となって初めての通常国会、本予算を決める大事な国会を前に、これからの課題や、日本という国を国土交通副大臣としてどうデザインしてゆくのかなど、まぶちがお話させていただきます。入場無料、予約不要、出入り自由です。

シビックミーティング終了後、隣のビルの地下1階「神なり屋」(TEL27-9565)にて有志による懇親会「天下国家を語る会」を開催します。

なお、こちらは会費2000円(軽食・飲み物)となります。

○お問合せ：まぶちすみお後援会事務所

・ Tel 0742 (40) 5531

まぶち @国交省 政務三役会議



これまで各府省の政策は通常、課長補佐レベルで原案を作成し、課長クラス、審議官や局次長クラスを経て、局長に案件は上がり、官房長や、事務次官、さらには大臣にも説明を行った上で最終的には省議と呼ばれる大臣以下の全体会議で意思決定が行われてきました。基本的に官僚を出発点とする積み上げ方式でした。これを政治家である政務三役が方向性を決め、官僚に指示を出すトップダウンの形で各府省における政治主導を実現する必要がありました。

政務三役会議は政権交代後の民主党政権において、官僚主導の政策決定を政治主導のものとするために各府省の最高意思決定機関という位置づけで新たに設けられた会議です。メンバーは政務三役、つまり大臣、副大臣、政務官です。基本的に官僚は出席しませんが、国交省では内閣官房専門調査員(党の政調スタッフ)と新たに設けられた政務三役政策審議室の室員は出席することができます。政務三役会議により各府省における「政」と「官」の在り方は大きく変わりました。

スタッフ日記

2009年は大きな変化の年でした。大きなことと言えば、政権交代。そして、まぶち事務所と言えば、代議士がおかげさまで国土交通副大臣に就任させて頂いたのが一番の変化でしょう。

私の仕事も結構変わりました。政策の竹さんがずっと国交省につめていたので、国会事務所は私一人きりです。代議士もほとんど顔を出さないので、事実上、「全部自分で」やらなければならなくなり、もっと自分頑張らなきゃなあ、と思う毎日です。

代議士は、といえば、木の半年前までは「敵の本丸」だった国交省でこの時間(22:30)も作業をしています。きっと今日も深夜までコースです。曰く「選挙と予算委員会が同時に来たような毎日」とのことですが、この国を大きくデザインする、その仕事を前にして何だか生き生きとしています。

実は今日はクリスマスなのですが、今年の(も?)国会事務所はホワイトクリスマスならぬ、ワーキングクリスマスです。(シズ)

衆議院
議員

馬淵澄夫

まぶちへのご意見は、e-mailで：
office@mabuti.net

国会
事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町 2-2-1
 衆議院 第1 議員会館 437号室
 TEL 03(3508)7137 FAX 03(3506)3572

奈良
事務所

まぶちすみお後援会(まぶち会)
 〒631-0036 奈良市学園北1-11-10 森田ビル6F
 TEL 0742(40)5531 FAX 0742(40)5532